

大家好!

我从2005年4月开始参加了,星期二班,同学们都很认真地学习。我要向他们学习,以后请多多关照。最近我学习了,这样一首中文歌。名字是“一封家书”。我觉得世界上的孩子们的心情都是一样的啊。无论在何时,无论在何方,人们都会为家里人祝福,希望他们快乐健康,特别是对父亲,母亲。

歌词非常好,所以我把这首歌送给你们。请看看吧!你觉得怎么样?

2007年1月30日

大类悦子

yī fēng jiā shū

一封家书

qīn'ài de bà bà mā ma nǐmen hǎo ma
亲爱的爸爸妈妈 你们好吗

xiànzài gōng zuò hěn máng ba shēntǐ hǎo ba
现在工作很忙吧 身体好吧

wǒ xiànzài guǎng zhōu tǐng hǎo de bàba māma bù yào tài qiān guà
我现在广州挺好的 爸爸妈妈不要太牵挂

suīrán wǒ hěn shǎo xiě xìn qíshí
虽然我很少写信 其实我很想家

bàba měi tiān dōu shàng bān ma guǎn de bù yán jiù bù yào qù le
爸爸每天都上班吗 管得不严就不要去了

gànle yī bèi zi gé mìng gōng zuò yě gāi xiē xiē le
干了一辈子革命工作 也该歇歇了

wǒ mǎi le yī jiàn máo yī gěi mā ma bié shě bu de chuān shàng ba
我买了一件毛衣给妈妈 别舍不得穿上吧

yǐ qián ér zǐ bù tài tīng huà xiànzài dǒng shì tā zhǎng dà le
以前儿子不太听话 现在懂事他长大了

gēge jiě jie cháng huí lái ba tì wǒ wèn hòu tā men ba
哥哥姐姐常回来吧 替我问候他们吧

yǒu shén me huó r jiù ràng tā men gàn zì jǐ hái zǐ yǒu shén me kè qì de
有什么活儿就让他们干 自己孩子有什么客气的

bàba mā ma duō bǎo zhòng shēn tǐ bù yào ràng ér zǐ fāng xīn bù xià
爸爸妈妈多保重身体 不要让儿子放心不下

jīnnián chūn jié wǒ yī dìng huí jiā hǎo le xiān xiě dào zhè ba
今年春节我一定回家 好了先写到这吧

cǐzhì jìng lǐ cǐzhì nà ge jìng lǐ
此致敬礼 此致那个敬礼

一九九三年十月十八号

中国語を学ぶ会

平成19年3月

第27号

你好

編集・発行連絡先

神山

電話 33-3177

Fax 32-5594

春天来了,大家身体好吗?

皆さんお変わりなく中国語の学習に頑張っていることと思います。今年暖冬の影響で雪も降らず、暖か過ぎたりやすかった冬でしたが、暖かいは気候ばかり「中国語を学ぶ会」のふところ具合は寒さに震えているようです。中山会長のご努力にもかかわらず新会員の募集がままならず遂に昭和四十七年に当会が発足して以来初めて授業時間の短縮が行われました。各所に中国語の教室が林立し競争が激しくなり、四月の新学期にも、どの程度の応募者が集まるかわかりません。会長や一部の役員に任せっきりしないで私たち一人一人が関心をもって協力し、この窮状をどのようにして解決していくべきかを考えていく必要があるのではないかと思えます。この状態が続きますと三班に分かれての学習方法があるいは維持できなくなるかも知れません。気の合った仲間と和気藹々で学ぶのは楽しいことですがお互いがすこしずつ譲り合い、我慢しつつ他の班の同学との交流を進めていくことが必要になるかも知れません。とにもかくにも、由緒ある私たちの学ぶ会をみんなで盛り立てていくように頑張ります。

「笑顔」

星期二班 福田慎二

今日久しぶりに公園をジョギングしました。公園の端のほうにすべり台があって親子が遊んでいます。

ぐるっとまわって近づくとも3,4歳の男の子が滑りながらケラケラ コロコロとても楽しそうに笑っています。とても楽しそうに無心に笑っているんです。

お父さんに向かって滑りながら両手を上げて笑っています。ケラケラ コロコロ本当にうれしそう。

私からは顔は見えないのですがとてもステキな笑顔なんです。



腊八节

旧暦の12月8日は中国の伝統的な祝日「腊八节」làbājiéです。この日は釈迦成仏の日とされており「腊八粥」と呼ばれるお粥を食べる風習があるそうです。

腊八粥はこのほかに佛粥、五味粥、七宝粥、七宝五味粥などとも呼ばれており、もち米やナツメ、落花生、栗などを砂糖で甘く煮たお粥です。五穀豊穰を祈願(祈愿五谷丰登)する意味を持っています。

1月26日のこの日、杭州市の中山北路

にある老舗薬房「張同泰」や「回春堂」などでは早朝7時半から店を開け、1万杯の腊八粥を市民に無料で提供したそうです。

杭州城内で一千杯以上の腊八粥をふるまった薬房やお寺、飲食店は少なくとも30ヶ所はありその他の個人経営飲食店などを合わせるとかなりの数になると言われています。

ところで杭州以外のところでもこのような風習が残っているのでしょうか。肝心なところを聞き忘れてしまいました。

北京から胡同が消えてしまう

北京でのオリンピック開催を控えて市内では大改造が行われているという。巨大な高層ビル続々と建てられ、道路が整備され悪名高かったトイレもピカピカに輝いてお目見えしている。しかもホテルなみに星付きのものまで出現したそうだ。

路上で痰を吐くな、ゴミを捨てるな、行列に割り込んではいけない、などなどマナーの改善もきびしく行われている。先日 A 新聞に載っていたのでお読みになった方もあると思うが、特派員がタクシーに乗った際、足裏が痒くなったので靴を脱いでポリポリと搔いていたら運転ちゃんが振り返り「没有文明！」つまりマナーがなっていないと叱られたそうだ。少々臭いがしたのかもしれないが、それにしてもタクシーの中で靴を脱いではいけないなんて初耳だし、中国人のドライバーに注意されるとはびっくりしたと書いてあった。

さて、北京の古きよき時代を象徴する胡同が高層建築群にその場所を譲らされているという。胡同は数百年來、北京の街の主な建築様式として活気あふれる地域社会を築いてきた。

胡同には複数の家族が共に住む四合院という伝統的な建物が残されている。胡同とはモンゴル語で「井戸」という意味がある。(路地と言う意味だとの説もある) 昔の北京は井戸のある場所に人々が集まり住んでいた。

元の時代、大通りは幅 24 歩 (約 37.2m) 小さい通りは 12 歩 (約 18.6m) 胡同は幅 6 歩 (約 9.3m) と決められていた。明・清の時代になるとこの規定はあまり厳格ではなくなり、元代の基礎の上にさまざまな規格の胡同が現れた。

改革開放が始まった 1980 年代北京には 3700 に近い胡同があったという。この美しい胡同もすでに半分近くが壊されてしまったと言われている。

数年前、北京で胡同を訪れる機会があった。旅行社も天安門広場や長城などだけでは客が満足しないので色々企画を考えるものだ。胡同観光用の三輪車タクシーに乗り狭くて薄暗い路地を走る。路地の両側は

まるで墨汁で着色したかのような色のレンガの塀が続いている。狭い玄関の中には人の気配は感じられない。

すでに手配のできている一軒の四合院を訪れその家の 50 歳くらいの主婦と話し合いをした。狭い部屋だったが小奇麗に片付けられていた。

こんなところで、万一火災でも起きたら自動車は入れないし大変なことになるのではなかろうか。

四合院を辞してから近くにある鐘楼に登ってみた。鐘楼に相対するように鼓楼が建っており、さすが高所から眺めると街の様子を一望することが出来た。各所で胡同を取り壊す土煙がたっているのが見えた。

笑話

相手の年齢を尋ねるときは何と言うでしょうか。「您今年多大了?」ではどうでしょうか。けれども相手によって尋ね方を変えないとトラブルになる場合もあります。相手が幼い子供なら「几岁了?」。年配の方の場合は「您高寿?」とか「您多大岁数了?」などではいかがでしょうか。

それでは次に年齢に関する笑話をひとつご紹介いたしましょう。

爸爸五岁了

“小珍，你能说出你爸爸今年多大了吗?”

“爸爸今年五岁了。”小珍答道。

老师笑了：“小珍，再想一想，难道你爸爸和你一样大?”

“是的，我爸爸亲口对我说过，他是从我出生那天开始爸爸的”

面白いですね、小珍说的有道理ですね。

ところでもうすぐ桜が咲きますね。八幡山公園でも総合公園でもどこでもいいんですが花見の宴を開きませんか。どなたか旗を振ってくれる人いませんかね……

朋 友 péngyou

星期二班 福田慎二

先日、なに気にラジオを聞いていると歴史学者の木村尚三郎さんが面白い話をしていました。

アジアの留学生が日本(人)になじめないまま帰国していると言うのです。それを「朋友」に例えて、日本人は友達になったからと言ってあまり家には招待してくれない。部屋が狭く汚いからといって、又、もし呼んでくれてもお客様扱いで応接間に閉じ込め、台所へ入れたり冷蔵庫から何かを出してもらうなど論外の様であると。

ここには日本独特の内輪に生きるという「文化」があるのだが、中国(アジア)では、貧しく、部屋が狭く汚くても、我家へ呼び、共に食事をし、ザコネでもいいから泊まってもらう。こんな関係の人を「友人」と言うのだそうです。

どちらが正しく、どちらがまちがっているというはなしではないのですが、もっとも「文化交流」をはかることが大切であると言っていました。

shùnkǒuliū

順口溜

顺口溜というのを聞いたことがありますか? これは民間から生まれた話し言葉による韻文の一種で、その内容は現実的で時弊を風刺したものが多くあります。文句の長さはさまざまですが非常に語呂がよいのが特徴となっています。竹の板などを打ち鳴らしながら、速いテンポでリズムとテンポを楽しみます。この言葉遊びの一つをご紹介します。

Guān xiǎo

到了北京，知道自己官小

dān xiǎo

到了东北，知道自己胆小

chuān

到了上海，知道自己穿得不好

shēn zhèn

到了深圳，知道自己钱少

qián shǎo

Hǎinán

到了海南，知道自己身体不好

北京に着くと自分の地位が低いことを知る(北京は政治の中心で高官がたくさんいるから)

最近「美しい国」と言う言葉がよく出てきますがこの木村さんが、日本の美しさとはなにか?日本人の中でもハッキリしていないのではないかと書いていました。その中で日本画家の千住博氏が日本の美しさとは「静かさと華やかさの共存である」と言われてなるほどなと思われたそうで満開の桜の花などが好きなのも日本人独特のもの様です。

朝日新聞の投書欄に安部政権がしきりに「美しい国」と言っているが、今は格差が拡大してきていて、うつくしくいが反対になっていると……「憎い苦痛」だと。ぜひ美しい良い国になってほしいものです。

東北に着くと自分は肝っ玉が小さいことを知る(東北人は肝っ玉がすわっていると言われてるから)
上海に着くと自分は服装のセンスがないことを知る(上海にはおしゃれな人が多いと言われてるから)
深圳に着くと自分は金がないことを知る(深圳は商売が盛んであることから)
海南に着くと自分は体が悪いことを知る(海南は気候が穏やかで健康な人が多いことから)

本号には福田さんと大類さんから寄稿をいただきました。ありがとうございます。いろんな人からいろんな文章をいただくと、より面白い紙面をつくることができます。内容は問いませんのでご協力ください。いただいた原稿はそのままに打字するように心がけておりますので句読点などははっきりと書いてください。よろしく願いいたします。